

令和 4 年度 施策評価表

施策	0802	社会保障制度の安定的運営	施策担当部	福祉保健部	部長	吉村 武史
			施策担当課	国保けんこう課	課長	前川 靖彦
施策の方針	国民健康保険や介護保険については、制度の重要性を市民へ啓発するとともに、医療費や介護給付の適正化に取り組み、制度の安定的な運営に努める。					
関連するSDGsのゴール						

【DO（実施）】

後期基本計画（令和3年度～令和7年度）における数値目標

指標名	単位	基準値 (R1)	R3目標値	R4目標値	R5目標値	R6目標値	R7目標値	R3年度	
			R3実績値	R4実績値	R5実績値	R6実績値	R7実績値	達成率	進捗率
① 国民健康保険税（現年度分）の収納率	%	95.03	95.03 95.76	95.03	95.03	95.03	95.03	100.8%	100.8%
② 介護保険料（現年度分）収納率	%	99.30	99.30 99.53	99.30	99.30	99.30	99.30	100.2%	100.2%
③									
④									
⑤									

施策達成状況の説明

①きめ細やかな納税指導と適切な滞納処分により、収納率の上昇及び目標値を達成することができた。
 ②滞納者に対する督促、催告、差押え等を実施するとともに、窓口及び電話での対応時に介護保険制度の必要性を説明し、理解していただくことにより介護保険料の納付につなげ、目標値を達成することができた。

施策経費

(単位:千円)		R3年度 決算	R4年度 予算	R5年度 見込	特記事項
内訳	事業費	13,560,955	14,369,498	13,737,475	
	国庫支出金	1,548,944	1,626,220	1,620,786	
	県支出金	7,770,162	8,221,161	957,999	
	地方債	0	0	0	
	その他	1,774,590	1,866,530	1,858,479	
	一般財源	2,467,259	2,655,587	9,300,211	
	人件費	113,753	116,974	—	
フルコスト	13,674,708	14,486,472	—		

施策の概要（細施策）

080201	国民健康保険の安定的運営	医療費の適正化を図るため、重複・多受診者への訪問指導や特定健診及び保健指導を実施し、健康管理に対する意識の向上を図るとともに、ジェネリック医薬品の使用をより一層促進します。 また、保険税の確保に向けた取組として、納税に対する理解促進や意識啓発、ファイナンシャルプランナーを活用した生活改善型納税相談を行います。
080202	介護保険の安定的運営	介護給付の適正化を図るため、定期的に介護事業所を訪問し、ケアプランの点検及び高齢者の実態把握を行うとともに、サービス利用に関する高齢者の疑問点を把握し、適正なサービス利用に向けた相談や助言により、介護保険制度の理解促進を図ります。 また、今後の介護認定者数やサービス給付量に応じた適切な保険料を設定するとともに、被保険者の負担の公平性を確保するため、引き続き収納率の向上に努めます。

【CHECK（評価）施策担当部長】

施策を達成する上での問題点・課題

国民健康保険税については、きめ細やかな納税指導と滞納処分により、目標を達成することができた。さらに収納率を向上させるため、滞納早期の催告や財産調査などを徹底し、差押えや執行停止処分を積極的に進める。また、平成29年11月に導入したペイジー口座振替サービスの振替率の向上、令和3年3月に導入したスマートフォン決済アプリによる納付の活用も図る必要がある。

介護保険料については、強制徴収を積極的に執行した結果、現年度分の収納率は過去最高であった令和2年度に次ぐ高さとなった。今後も引き続き介護保険制度の理解促進を図るとともに、適切な滞納処分を実施する必要がある。

【ACTION（改善・改革）】

上記の問題点・課題を踏まえた事務事業の改善・改革や新規事業についての考え方

国保税の滞納繰越分については、きめ細やかな納税指導と適正な滞納処分を引き続き行いながら、収納率の向上と滞納額の圧縮に努める。また、平成29年11月に導入したキャッシュカードを使った口座振替受付サービス（ペイジー）、令和3年3月に導入したスマートフォン決済についても引き続き周知を行うことで、納期内納付の推進と収納率の向上を目指す。

令和5年度新規事業

	事業名	担当課	令和5年度見込	対象・事業概要など
			事業費（千円）	
1				
2				
3				
4				
5				
			0	